

EVOLUTION

私たちの「進化」は止まらない



BSサミット事業協同組合 組織案内



**車体整備という事業領域を超越し
モビリティサービスを追求する全国ネットワーク**

安心・安全なモビリティ社会に貢献するため
“次世代自動車時代”で勝ち残れる精鋭が集結する組織へ！

理事長あいさつ

私ども BSサミットは、組織の形を進化させながら 30年以上に渡って「安心・安全なモビリティ社会に貢献」するために活動を続けている、自動車修理のプロショップ全国ネットワークです。

ご存知の通り、自動車は目覚ましいスピードで進化を続け、自動ブレーキ機能が搭載された先進安全自動車(ASV)は“あたり前のもの”となりました。また、これからの時代は水素や電気をエネルギーとした地球環境に優しいクルマが増え続けていくことも間違いありません。そして、その先には「完全自動運転」や「空飛ぶクルマ」の実用化がすぐそこまで迫っています。これら次世代自動車の進展に伴い、交通事故の件数は大幅な減少が続く見込みです。

この様に変化の激しい状況下では、市場変化を正しく理解しレスポンス良く対処できた企業だけが事業継続が可能といっても過言ではありません。そこで BSサミットは、経営者を含め組織・業態を大きく変える必要があると判断し、車体整備業界・自動車整備業界の垣根を超えた新業態「モビリティサービス業」として、次世代自動車時代を迎えた自動車業界に対応することを発表いたしました。

BSサミットは、想像を超えるハイテク技術が搭載された自動車が登場しても、しっかり整備・修理できるように常に先を見通した活動を行っています。「BSサミット組合員工場にお願いして本当に良かった。これからもクルマのことは、すべて任せる！」とおっしゃっていただけることが、私どもにとって最高の勲章です。発売されたばかりの新型車から、長く乗り続けられている愛車まで、大切なお車の整備や修理が必要になったときには、高い志と技術・設備をもつ BSサミット組合員工場へ、ぜひご相談ください。



BSサミット事業協同組合理事長
磯部 君男

BSサミット基本宣言

お客様の喜ぶベストサービスを実践しよう
ベストショップの全国ネットを構築しよう
時代の先端に行くモビリティサービスを追求しよう

【BSサミット組織理念】

BS サミットは創造・挑戦し続ける実践集団
変わらない「品質」「安心」「安全」
変えていく「技術」「環境」「サービス」

【BSサミット活動方針】

- 一. オートアフタービジネスを通して安心・安全なモビリティ社会に貢献します
- 一. 業界最高水準の技術・接客を提供します
- 一. コンプライアンスを遵守し、信用・信頼される組織を目指します
- 一. オートアフタービジネス業界の新たな秩序を創造します
- 一. 次代を担う経営者を育成します

BSサミットの取り組み

“次世代自動車時代”で勝ち残り続ける 革新的な戦略を展開!

これまでBSサミットは、我が国にDRPを先駆けて導入し20年の実績のもと、お客様の安心・安全なカーライフの実現に寄与してきました。今後はDRPだけを追い求めるのではなく、次世代自動車時代で勝ち残り続けるための革新的な戦略を展開し続けます。

行政機関との意見交換

自動車ユーザーへの安心・安全な車体整備の提供をコンセプトにした「安全な自動車の車体を確保する議員連盟」を発足。日本損害保険協会、国土交通省、金融庁、中小企業庁、公正取引委員会などの関係省庁にもご参画頂き、車体整備業界全体の課題の解決に向けた活動を展開しています。また、毎年開催する「全国大会」や「新春賞賛交流会」には多方面より数多くの方々にご出席頂き、活発な意見交換を行える貴重な場となっています。



(2022年3月 安全な自動車の車体を確保する議員連盟にて)



(2020年1月 BSサミット賞賛交流会にて)

次世代技術に対応する整備ネットワーク構築

国内最大手のカー用品チェーン「オートバックス」のFC本部、株式会社オートバックスセブンとBSサミットは包括的業務提携を締結しました。全国に約600店舗あるオートバックス店舗が、近隣にあるBSサミット組合員工場とリレーションを深めることで、地域における整備ローカルネットワークの構築を目指す取り組みを行っています。すでに各地で、車検やエーミング、ロードサービスなど多種多様な連携が生まれ、地域ユーザーの利便性向上に寄与しています。



国際車体修理協会 (AIRC) への加盟

欧州各国の有力な钣金塗装団体で構成される国際自動車修理協会 (AIRC) に日本の钣金塗装団体として唯一加盟しました。急速に高度化が進む自動車整備に対応するためには、自動運転技術などで先行する欧州車の情報取得も重要だと考え、ドイツの钣金塗装団体「ZKF」やイギリス、イタリア、オーストリア、ベルギーなど欧州14カ国の団体が加盟するAIRCに加盟し積極的な情報交換を行っています。



安心・安全な車体整備の実施に向けた「溶接管理責任者制度」創設

衝突安全ボディの復元及び高強度鋼板・超高強度鋼板の適用による溶接強度の重要性がクローズアップされています。これを受け、それらの溶接を正しく安全に行える設備・環境と技術が備わっていることを証明すべく、安心・安全な溶接施工をさらに進化させるため業界に先駆けて「溶接管理責任者制度」を創設しました。



「BS エビデンスシステム」構築

次世代自動車時代の到来により、車体整備作業における責任の明確化(トレーサビリティ)と修理した車の証拠書類(エビデンス)の保管・管理(アーカイブ)が今後重要性を増すと考え、車体整備記録簿やエーミング作業報告書などの書類発行・保管を管理できる「BS エビデンスシステム」を構築しました。



次世代自動車の修理に対応する技術情報

点検基準に「車載式故障診断装置の診断の結果」の点検(OBD点検)が追加され、電子的な作業への対応が求められるなか「次世代自動車の整備-DTCと再設定作業」のDVDを、また、本格的な電気自動車時代が始まる事を想定し「電気自動車の基礎知識」のDVDを、制作・配布いたしました。今後は、従来の研修のバージョンアップや、電子機器を駆使した高度整備技術力の研修も視野に入れてまいります。



沿革

1983年(昭和58年)	2月	「RSサミット21研究会」発足
1986年(昭和61年)	4月	「ABサミット21研究会」に名称変更
1993年(平成5年)	10月	「BSサミット研究会」設立発起人会開催・広島
1994年(平成6年)	3月	第1回研究会を開催・静岡
1997年(平成9年)	11月	実践集団として「BSサミット」が発足・御殿場
2009年(平成21年)	9月	事業協同組合として認可される
2010年(平成22年)	10月	「BSサミット事業協同組合」事業開始
2013年(平成25年)	7月	「BSサミットニュース」発刊
2013年(平成25年)	10月	韓国・DRP制度導入への支援に対して韓国・国土交通省から表彰
2013年(平成25年)	11月	「次世代オートアフターマーケット協議会」発足
2014年(平成26年)	3月	オートアフターマーケット一括見積システム「BSダイレクト・オーダー」始動
2015年(平成27年)	9月	TUV監修「エクセレント車体整備工場」認定制度開始
2016年(平成28年)	6月	協賛会社様商材PRシステム「BSサミットモール」稼働
2016年(平成28年)	8月	「安全な自動車の車体を確保する議員連盟」発足
2016年(平成28年)	12月	組織理念、活動指針を時代に合わせ刷新
2018年(平成30年)	1月	株式会社オートバックスセブンと包括的業務提携契約を締結
2020年(令和2年)	8月	「国際自動車修理協会(AIRC)」に日本の钣金塗装団体として唯一加盟
2021年(令和3年)	3月	基本宣言、活動指針を時代に合わせ刷新
2022年(令和4年)	1月	基本宣言、活動指針を時代に合わせ刷新

お問い合わせ先
BSサミット事業協同組合

〒104-0031 東京都中央区京橋3-9-4 新京橋ビル3階
TEL:03-3538-2900 FAX:03-3538-2901
E-mail:honbu@bs-summit.co.jp